

鹿陽新聞 夏号

第11回 障害者スポーツ大会



～ 巻 頭 言 ～

イギリスでは、ガーデニングが国民的娯楽とみなされ、園芸療法は、身体的・精神障がいを持った人の社会復帰と同じに予防セラピーのための重要な手段と考えられてきました。イギリスのメイガーは園芸の療法的効果について「暇な時間があったら、畑に出て穴を掘ったり、座ったり、草取りをしない。これほど健康を保つのに良い方法はない。」と指摘しています。

最近、バランスの崩れた健康への関心が高まり、障がいを持った人や治療が必要とされる人のみならず、若い人も健康な人も含む全ての人にとって園芸や自然と触れ合うことから受ける効用が重要視されるようになってきました。

農作業ははっきりと目的を定めて、計画的・タイミングよくやらなければいけません。

そのためには、野菜や果物自身のこと、生育と環境との関係のこと、作業の手段や道具の使い方についても良く知らなければなりません。いい汗をかきながら作業をする事、忍耐強くそして愛情を持って彼らの成長を持つ心が必要です。

また、色々な場面において周りの人たちと関わりを持ち協力しあえる社会性も必要になってきます。こうして農作業を通して人間が「人間らしく」育てられるのです。

私は、農という分野でやってゆきたい事が数多くあります。それは、鶏を放し飼いにして自然卵を採ったり、漬物を作り、ジャムを加工し、鹿陽ファームの有機野菜や蕎麦を使った食堂の経営など利用者の皆さんと一緒にしてみたいものです。

理事長 森元 義光

●新しい利用者紹介●

片渕 夜映香さん (あたっく)
白石町から来ました。好きな事は、本を読んだりゲームをする事です。これから一生懸命頑張ります。宜しくお願いします。

大井 手紀子さん (あたっく)
塩田町から来ています。趣味はマンガ本を読む事です。宜しくお願いします。

末次 雄汰さん (さくら)
この1年間、僕は勉強だと思っています。だいぶ慣れてきて、日々成長していると思います。今年1年は頑張りたいです。

宮崎 優さん (あたっく)
嬉野町から来ました。私は、お笑い番組が好きで、特にノブシコブシ(吉村さん)とピース(綾部さん)が好きです。どうぞよろしくお願い致します。

●新しい職員紹介●

中島 さやかさん (パート)
所属 いっぱ・いっぱい

初めまして、入社から1ヶ月が経ちました。まだ分からない事がたくさんありますが、楽しく頑張っています。これからも笑顔忘れず、利用者の皆様に信頼して頂ける支援員になりたいです。よろしくお願いします。



【鹿陽スイミングクラブ】

心身の健康維持と増進に努めるとともに、会員相互の親睦、健康なライフスタイルを創造する場を目的としてスタートしました。今では会員数約10名となり、毎週楽しく泳いでいます。自分に合ったペースで、無理なく泳ぐ事ができると利用者さんの間でも好評です。



【鹿陽ファーム】

鹿陽ファームでは様々な夏野菜を栽培しております。梅雨の季節となりましたが、雨にも負けず、利用者の皆さんが毎日一生懸命お世話をして、すくすくと育った野菜です。どうぞご賞味下さい。また、宅配サービスのご利用についても、随時承っておりますので、よろしくお願い致します。



(夏野菜)

ナス、キュウリ、ピーマン、ジャガイモ、カボチャ、トウモロコシ、ゴボウ、ニンジン、スイカ、オクラ、ミニトマト、ズッキーニ など

●夏祭りのご案内●

8月25日(土)に夏祭りを開催致します。祭り当日、準備や調理に人手が足りません。夏祭りを成功させる為に、皆さんのお力が必要です。ご家族の方で、御都合が付かれる方の御協力を宜しくお願い致します。

次回発行日
9月20日(木)



ソフトボール投げ

ソフトボール投げに男女合わせて4名参加され、自己記録・大会記録の更新が出来ました。

結果的には記録更新したものの、練習よりも飛距離が伸びず、素直に喜べない複雑な気持ちを持った方もいらっしゃいました。

来年こそは、練習の成果を出せる様にしっかりと体作りをし、万全の準備を整えて大会に臨める様にしたいと皆さん力強く言われていました。



水泳 (本人コメント)



今回初めてスポーツ大会の25m平泳ぎに出場しました。

私は以前から水泳が好きで、大会の為に鹿陽スイミングクラブにて練習してきました。その結果がみのり20秒68の好タイムでゴールする事が出来ました。

緊張感を持って泳ぐのも良いものですね。来年に向けて、クラブでの練習を頑張りたいと思います。(峰松)



25m自由形に出場しました。大会に向けて、みなさんと一緒にスイミングクラブで練習してきました。でも飛び込みの練習はしていませんでした。

だったので、本番は足から飛び込んでしまいました。

泳ぎの方は練習通りできたので大会を楽しむ事ができました。来年の目標は、飛び込みをマスターする事です。(中原)

車いすマラソン優勝

今回、有田町で開催された、佐賀セラミックロード車いすマラソン大会では、初の3kmの部1位入賞と順天杯(トロフィー)を頂く事ができ、なによりも家族が一番喜んでくれました。これも森元理事長をはじめ皆様の御協力や御声援があったからだと思っております。今回は久しぶりの大会という事で、戸惑いを隠しきれない状況の中で、3kmの部に出場しましたが、来年は今年以上に力をつけて、最終目標の10kmの部に出場し、完走を目指したいと思っています。



ボウリング競技

ボウリングは遊道楽嘉瀬店で行われました。慣れ親しんだ場所での競技という事もあり、落ち着いてプレーする事が出来ました。自らが持つ大会記録を更新しグループ1位。ザ・鹿島では、参加者が少ない競技ではありますが「楽しそうと」言われる方もあり、今後は参加者が増える可能性のある競技です。

無この
二の一
の一球
は球は
なり



選手宣誓

選手宣誓では「宣誓、私たちは私たちを支え励まし指導して下さいましたすべての方々への感謝の気持ちを胸に全力でプレーする事を誓います」とザ・鹿島の峰松和昭さんが選手を代表して力強く宣言されました。

この宣言とともに、個人・各団体の皆さんも競技への強い思いを誓いました。

宣誓者(峰松 和昭)

競争競技

競争競技にザ・鹿島からも50m、車いす50m、100mにそれぞれ参加しました。練習では悪天候が続き、十分な準備が出来ず、不安を抱えたまま本番を迎える事になりましたが、意外に皆さんリラックスする事ができ、どの種目でも素晴らしい成績を収められました。

特に車いす50mでは、前回の記録を1秒近く縮め大会新記録の51秒52でゴールされ大会2連覇を成し遂げられています。



車いす200m走

練習から小川さん、末次さんお互いにライバルとして切磋琢磨してきました。

200m走では小川さん、末次さんの2名が出走されました。当日は真剣勝負という事もあり、お互い緊張感を持ってレースに参加し、末次さんは先輩である小川さんの背中をしっかりと見据え、追いかける展開。一方小川さんは堂々とした走りで見客を魅了。2人とも力強い声援を受けながらのゴールとなりました。

フライングディスク

アキュラシー競技では、風に悩まされる展開で競技が開始されました。練習では上手く出来ていた方も、本番では実力が発揮できず、悔しい思いをされる場面も見られました。参加者(島崎・小池・石原)

ディスタンス競技では、本番2投球での緊張する中、風の影響を受け、3名の参加者の記録が伸びませんでした。皆さん悔しい思いをバネに、来年もこの競技に参加し、上位入賞を目指したいと笑顔ながらに言われました。参加者(島崎・小池・石原)

